

ワクチン接種記録システム構築の目的



2021年2月17日

1. 従来の予防接種事業と今回の新型コロナワクチン接種事業の相違点

① 約 1 億人が短期間に 2 回の接種を要し、管理が煩雑

② ワクチンの性質と国民的関心の高さから、
多数の問い合わせが予想される

③ 住民の求めに応じて接種証明を出す必要も想定

2. 現行の取組の課題

課題1：接種

- 現行の自治体ごとに保有する予防接種台帳に入力という手法では、データ化されるまでに**2～3か月**かかる

課題2：接種

- 迅速なデータ化ができない場合、複数回接種のタイミングなどに対する市民からの問い合わせ、引っ越してきた市民への問い合わせへの対応が困難に。

課題3：接種後

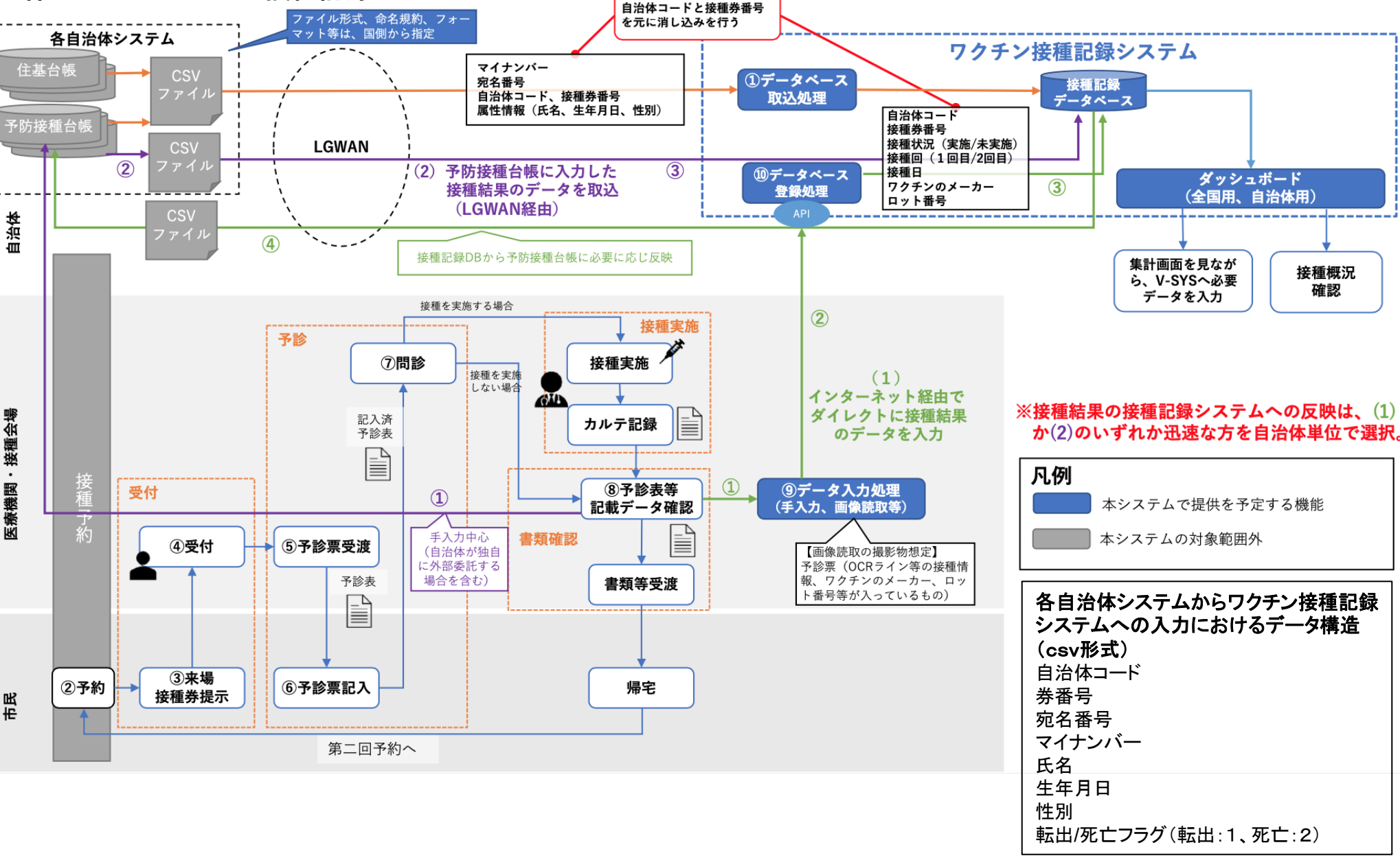
- 住所地外の施設に入所する高齢者への巡回接種や職域接種を今後検討するにあたり、住所地の自治体が住民の接種状況を把握することが困難

課題4：情報

- ワクチン接種事業全体の円滑な進行には、国民の理解が不可欠。全国の進捗状況を踏まえた政策対応に加え、迅速な情報提供や副反応調査の迅速化が重要。

<ワクチン接種記録システムの全体フロー>

全体フローとワクチン接種記録システムのスコープ



<ワクチン接種記録システムの接種結果登録時の画面遷移イメージ>



<接種券とワクチン接種シールイメージ>

3. 接種券（現時点案）

接種券				予診のみ				新型コロナウイルスワクチン 予防接種済証(臨時) Certificate of Vaccination for COVID-19	
券 種	2	ワクチン接種	1	回 目	券 種	1	予診のみ	1	回 目
請 求 先	〇〇県〇〇市		123456		請 求 先	〇〇県〇〇市		123456	
券 番 号	1234567890				券 番 号	1234567890			
氏 名	厚生 太郎				氏 名	厚生 太郎			
								1回目	
OCRライン（18桁）				OCRライン（18桁）				接種年月日	
								2021年	
								月 日	
								接種場所	
								2回目	
								接種年月日	
								2021年	
								月 日	
								接種場所	
								氏 名	
								厚生 太郎	
								住 所	
								〇〇県〇〇市〇〇 999-99	
								生年月日	
								〇〇年 〇〇月 〇〇日 生	
								〇〇県〇〇市長 日本 一郎	

接種を受ける方へ

- シールは剥がさずに、台紙ごと接種場所へお持ちください。
- 右側の予防接種済証は接種が終わった後も大切に保管してください。

※ 接種時点では、市町村から発行された接種券のほか、予診票等が必要

ワクチン接種シール 本シート1枚が1バイアル分です
製造番号: XXXXXX
最終有効年月日: YYYY/MM/DD BIONTECH Pfizer
接種済証貼付用 予診票貼付用

COMIRNATY コミナティ筋注 製造番号: XXXXXX 最終有効年月日: YYYY/MM/DD 製造販売: ファイザー株式会社 BIONTECH Pfizer	
---	---

コミナティ筋注
ファイザー
製造番号: XXXXXX
EXP: YYYY/MM/DD

コミナティ筋注
ファイザー
製造番号: XXXXXX
EXP: YYYY/MM/DD

コミナティ筋注
ファイザー
製造番号: XXXXXX
EXP: YYYY/MM/DD